

躍進を続ける塩尻市に



永井 泰仁
(自民党)

◆都市ガスの導入を

問 国際石油開発帝石(株)松本ラインの塩尻バルブステーションから分岐して、一番安価な都市ガスを市内に普及させてはどうか、市の見解は。

答 都市ガスは、他のエネルギーと比較して、安全性・経済性等に優れ環境負荷が少ない。本年4月から、ガス管の共同利用による都市ガスの小売自由化がスタートし、民間のガス供給事業者の参入による導管事業やサービスの向上が見込まれ、有効な都市のインフラ整備になる。供給基盤整備については、公共工事とガス導管布設の共同工事等、市の事業に支障のない範囲で個別に協議していく。

◆セイコーエプソン(株)への上水供給事業

問 工事の時期、発注方法、入札方式及び安全対策について市の考えは。

答 工事発注は、平成29年度早々を予定で、完成は来年3月末を目指す。発注方法は、

一体でなく、配水池築造、管理棟建築、機械設備、電気設備及び配水管布設工事の分離発注を検討している。入札方式は、塩尻市入札・契約事務等取扱要領に基づき、地元業者が参加できる方式を検討したい。安全対策は、工事場所

が丘中学校周辺のため、登下校時に誘導員の配置、学校に近接する工事は、夏休み期間に施工する等、学校と事前調整を図り、工事に万全を期す。

◆その他の質問事項

小中学校のいじめや小学校の英語について、木質バイオマス発電について質問した。



都市ガス塩尻バルブステーション

新年度予算のポイントと主要課題について問う



村田 茂之
(市政同志会2015)

◆新年度重点事業と予算

問 昨今、移住促進、地方創生など「自治体も競い合う時代」の中、第五次塩尻市総合計画第1期中期計画最終年度としてのポイントは何か。

答 新年度予算策定では、これまでの事業進捗を踏まえ実施計画を補正するとともに、行政評価で新規・拡大・縮小・廃止を区分し決定した。主な新規・拡大事業は、母子保健、天使のゆりかご、保育士スマイルアップ、雇用対策、森林活用、健康寿命延伸、民生委員活動費拡充、シティブロモーション、地方創生推進交付金活用の地域ブランド化各事業等である。PDCAサイクルにより次期中期経営戦略策定に繋げたい。

◆区域区分(線引き制度)の検討状況の確認

問 12月議会でも多くの質問がなされた都市計画区域区分(線引き制度)の見直しの中間検討状況は。また立地適正化計画は、大都市向けに適応

すべき概念で実効レベルにはないと考える。現在、市内各地区で抱えている障壁や課題をどう解決していくのが優先ではないか。立地適正化計画の肝は何か。

答 コンパクトシティを目指す立地適正化計画策定を進めていく。28年度は課題の抽出をし、29年度は課題解決の検討を行う。結果として32年度に同計画を策定したい。

◆その他の質問事項

新体育館について、地域プラットフォームについて質問した。



立地適正化を問う